

日 本 史

(歴史総合・日本史探究)

Ⅰ 日本列島に暮らす人びとの生活は、有史以来、下記の資料1)～3)のようにさまざまな災害にさらされてきた。それにより、地域の政治経済や生活に大きな変化をもたらされた。次の文章を読んで(引用文は出題にあたり原本より一部改変して表記している)、下記の問いに答えなさい。(問1から問5まですべてで400字以内)

資料1)『続日本紀』によれば、その災いは同じ年とその翌年に、次のように記された。

- A. 八月十二日 この頃大宰府管内で、その災いにより死亡するのが多い(中略)長門国よりこちらの山陰道諸国(中略)ひたすら斎戒し(後略)
- B. 十一月二十一日 穀物の実りが非常に悪かった。夏から冬にかけて全国的に(中略)若死する者が多かった。
- C. 翌年十月二十二日 男女すべてが苦しんだ。農作業もできぬことがあり(中略)今年の田租を免除し、人民の命をつながせるように。

資料2)『方丈記』によれば、その災いは、次のように記された。

- D. (前略)世中飢渴して、あさましき事侍りき。或は春・夏ひでり、或は秋大風・洪水など、よからぬ事どもうち続き、五穀ことごとくならず(後略)
- E. 京のならひ、何事につけても、みな、もとは田舎をこそ頼めるに、絶えて上るものなければ(後略)

資料3)『吾妻鏡』によれば、その災いは、次のように記された。

- F. 3月19日 乙巳 今年世上飢饉。百姓多く以て餓死せんと欲す。仍って武州伊豆・駿河両国の間、出挙米を施しその飢えを救うべきの由、倉庫を有する輩に仰聞けらる。

問 1 資料 1) の災いは何と考えられているか、もっとも有力な災いの名称を答えなさい。この災いにより公卿の父を亡くし、九州で反乱を起こした貴族の名前を答えなさい。

問 2 資料 1) の A ～ C の内容をふまえ、以下の用語をすべて使い、初期荘園に至る経緯を説明しなさい。

用語：公地公民制，三世一身法，墾田永年私財法

問 3 資料 2) の書物の著者の名前、および D の災いは、日本史上、何と呼ばれているかを答えなさい。

問 4 資料 2) の D と E の内容に則しながら、この災いを介した、都市と農村の間に想定しうる物流および人流を簡潔に説明しなさい。

問 5 資料 3) の災いにより生じた社会状況の変化をふまえて、その後の御成敗式目の制定に至る経緯を、下記の用語をすべて使い、説明しなさい。

用語：流民，食糧，荘園，地頭，武士

- Ⅱ 次の史料は、日本とロシアの関係について報じる『東京朝日新聞』の記事である（一部を省略のうえ、表記を改めている）。これを読んで下記の問いに答えなさい。
(問 1 から問 4 まですべてで 400 字以内)

五月といへる月、不思議にも日露両国間の重大事件に関係ありとて或人の語るを聞くに、今を去る三十四年前、〔中略〕露国軍艦ポサツトウニツク号が我対馬島の一部を占領し、〔中略〕其後明治四年、副島参議を露国ポシエツト湾に派遣し、樺太^(a)
島疆^{きょうかい}界の事を協定したるは五月十三日にして、明治八年、時の露国駐^{ちゅうさつ}箭公使
(b)氏が〔中略〕樺太千島交換の条約を締結したるは五月七日なり。次に去る二十四年、今の露帝、当時の皇太子殿下が我国へ来遊の途次、彼の湖南の大珍事^(c)を
引起したるは五月十一日、又今回の遼東半島還付^(d)に関する同国の忠告に付、詔勅を
発し給ひしも亦本月なり。

（「日露間の重大事件と五月」）

- 問 1 下線部(a)に関して、これに先だつ安政元年に締結された条約によって、樺太の扱いはどのように取り決められていたか、簡潔に説明しなさい。
- 問 2 (b)の人物は、幕臣として戊辰戦争を戦ったのち、明治政府の一員に加わった。外務大臣などを歴任した、その人物の氏名を書きなさい。
- 問 3 下線部(c)に関して、この出来事の名称を書きなさい。また、この出来事は、当時の日本の外交に、直接的にどのような影響を及ぼしたか、説明しなさい。
- 問 4 下線部(d)に関して、この出来事はどのような経緯と理由でおこったか、またのちの日露関係に、直接的にどのような影響を及ぼしたか、説明しなさい。

Ⅲ 次の文章は、国際法学者で日本の外務官僚の倉知鉄吉が、1909年に自身が「韓国併合」の語を考案した経緯を、のちに回顧して記したものである。これを読んで問いに答えなさい。(問1、問2をあわせて400字以内)

当時我官民間に韓国併合の論少からざりしも、併合の思想未だ十分明確ならず、或は日韓両国対等にて合一するが如き思想あり、又或は奥匈国の如き種類の国家を作るの意味に解する者あり、従て文字も亦合邦或は合併等の字を用いたりしが、自分は韓国が全然廃滅に歸して帝国領土の一部となるの意を明かにすると同時に、其語調の余りに過激ならざる文字を選ばんと欲し、種々苦慮したるも遂に適當の文字を発見すること能わず、因て当時未だ一般に用いられ居らざる文字を選ぶ方得策と認め、併合なる文字を〔中略〕用いたり。

(春畝公追頌会編『伊藤博文伝 下』より引用、ただし一部改変)

問1 下線部が示す1867年に成立した同君連合の帝国名を書きなさい。

問2 1905年以降の朝鮮植民地化過程を朝鮮側の抵抗に言及しつつ論じるとともに、上の文章の内容を踏まえて「韓国併合」の性格について述べなさい。あわせて「韓国併合」と比較しながら第一次世界大戦後に登場した委任統治とはなにかを述べ、このような新たな統治方式がとられた背景を論じなさい。